



令和3年 4月25日(日)

12:00開演(11:00開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

前売開始: 令和3年 2月1日(月) 午前10時~

料金: 全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円
C席(1階後席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円
学生席(2階席) 2,500円(25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催: 公益財団法人十四世六平太記念財団

協力: 一般社団法人喜多流職分会

後援: 品川区、品川区教育委員会

・ご自身の身近に新型コロナウイルス感染症に感染した方、またはその可能性のある方がいらっしゃるお客様、入管法に基づく入国制限の対象となっている地域から日本への入国後14日間経過していないお客様のご来場はお断りいたします。

・会場入り口前で手指の消毒、検温を実施させていただきます。体温が37.5℃以上の方、あるいは体調の悪い方のご入場はお断りさせていただきますことがございます。

喜多流 自主公演

令和三年 四月

放下僧 長島 茂
源氏供養 出雲 康雅
藤戸 塩津 哲生

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。
ご予約の際ご案内いたします。

※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・当面のあいだ水分補給を除き、飲食はご遠慮くださいますようお願いいたします。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回りにご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

当能楽堂は、政府、公益社団法人全国公立文化施設協会などのガイドラインに基づき、感染拡大防止のための対策ガイドラインを定めています。なお、本ガイドラインの内容は、新型コロナウイルス感染の地域における動向や専門家の意見などを踏まえ、必要に応じて適宜改訂を行うものとさせていただきますので、ご来場の前には当能楽堂HPにてご確認ください。お客様におかれましては、ご自身の感染予防とともに周りのお客様にご配慮いただけますよう、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染対策ガイドライン
<http://kita-noh.com/covid-19-guidelines/>

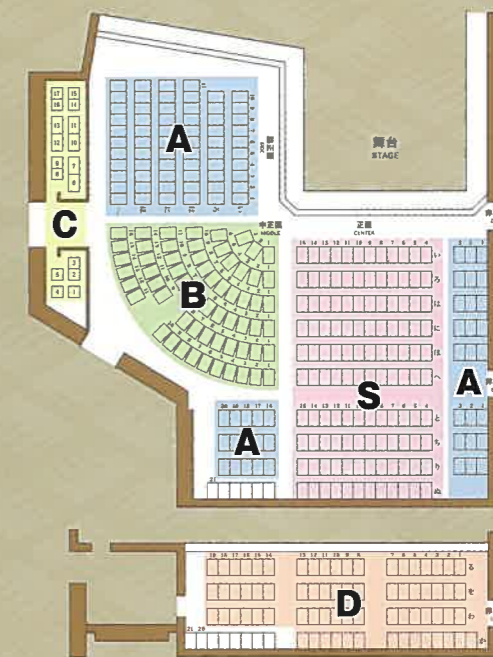


喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ・ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ・お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ・ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
 - ・追加料金はかかりません。
 - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
 - ・年間優待券のみでの観能はできません。
 - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ・本年度は延期になった前年度の振替公演です。ご利用は前年度(令和2年度)喜多流自主公演年間優待券をご利用ください。尚、前年度の予約済の指定席も有効です。
- ・青年能には使用できません。

自主公演観客席御案内



S席 9,000円 C席(1階後席) 6,500円
A席 8,000円 D席(2階席) 6,500円
B席 7,000円 学生席(2階席) 2,500円

会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。
※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車のご来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9
TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999
喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>

能

後シテ・前同人 塩津圭介

後シテ・前同人 長島 茂

放下僧

ワキ・利根信俊 江崎欽次朗

アイ・木刀持 善竹大二郎

大鼓 佃 良勝

小鼓 曾和伊喜夫

笛 小野寺竜一

後見 友枝昭世

地謡 友枝雄太郎

栗谷浩之

谷 友矩

金子敬一郎

友枝真也

中村邦生

狩野祐一

栗谷充雄

狂言

茶壺

シテ・つば 善竹十郎

アド・中国地方の者 大藏 教義

アド・目代 野島 伸仁

休憩(二十分)

能

後シテ・紫式部の霊 出雲 康雅

源氏供養

ワキ・連・從僧 村瀬 慧

ワキ・安居院法印 福王 和幸

ワキ・連・從僧 村瀬 提

大鼓 安福 光雄

小鼓 森 貴史

笛 一噌 幸弘

後見 内田 安信

地謡 金子 龍晟

佐々木多門

松井 彬

佐藤 寛泰

内田 成信

高林 昌司

栗谷 明生

大島 輝久

休憩(十分)

仕舞

八島

大島 輝久

地謡

金子 龍晟

狩野 了一

大島 政允

内田 成信

能

後シテ・漁夫の霊 塩津 哲生

藤戸

ワキ・連・從者 是川 正彦

ワキ・佐々木盛綱 福王 茂十郎

ワキ・連・從者 矢野 昌平

アイ・盛綱の下人 善竹 大二郎

大鼓 大倉 慶乃助

小鼓 曾和 正博

太鼓 三島 元太郎

笛 寺井 久八郎

後見 香川 靖嗣

地謡 友枝 雄太郎

高林 伸二

谷 大 作

谷 友 矩

狩野 了一

狩野 祐一

友枝 雄 人

附祝言

終了予定時刻 四時三十分頃

放下僧(ほうかぞう)

下野国の住人の牧野左衛門という者は、相模国の住人の利根信俊と口論の末に殺害される。牧野左衛門には二人の息子がおり、兄は禪門に入って出家していた。弟の小次郎は、兄を訪ねて仇討ちの話をもちかける。親の敵を討たないのは親不孝であると言い、中国の故事を例えて説得し手段を相談する。そして二人は、敵を欺く為に、当時流行っていた放下の姿に扮して故郷を出る。(中入)一方、利根信俊は夢見が悪いので、瀬戸の三島に参詣しに行く。兄は出家姿の、弟は弓矢を持った放下になりすまし、浮雲、流水と名乗り信俊に近づき、禅問答を交わす。そしてクセ舞や羯鼓、小歌などの様々な芸を演じて見せ、油断させて隙をねらって父の敵を討ったのであった。(約六〇分)

茶壺(ちやつぼ)

主人の命で京の梅尾(とがのお)で茶の葉を買い求めた男(中国地方に住む者)が、帰る途中に立ち寄った先で酒を飲み、酔って道ばたに寝てしまします。そこへ通りかかったつば盗賊は、男が背負っていた茶の葉を詰めた壺を我が物にしようと企みます。目が覚めて二人が茶壺の取り合いをしていると、目代(役人)が仲裁に入り、それぞれに茶の入日記(いれにつき)(茶壺の中身の目録)や茶園の事を尋ねますが、二人とも同じ事を言うため母(らち)が明かす。(約二十五分)

源氏供養(げんじくよう)

安居院の法印が石山寺へ参詣しようとする途中、女に呼止められる。自分はこの石山寺で『源氏物語』を書いたが主人公の光源氏の供養をしなかつたために成仏が出来ないので、光源氏と自分の供養を求めてくる。そして里女が紫式部の霊と分かると法印は供養を引き受ける。(中入)法印が石山寺で光源氏と紫式部の霊の供養をしていると、紫式部の霊が現れ、『源氏物語』の巻の題を織り込みつつ、世の無情と弥陀の導きを願った舞を舞う。そして光源氏の供養と併せて自らも成仏が出来ると言って悦び『源氏物語』は石山の観世音が紫式部となって仮にこの世に現れ、この世が夢であることをこの物語によって人々に知らせた方便であるといつて消え失せる。(約七十五分)

藤戸(ふじと)

佐々木盛綱は、藤戸の戦いで先陣の恩賞に賜った尾島に、初めて領主として国入りし、領民の声を聞こうと訴訟の申し出を受け付ける。すると、一人の女がやってきて、我が子を盛綱に殺されたと訴える。盛綱は覚えがないと言いつ張るが女の強い訴えに抵抗しきれず、藤戸の合戦で功をたてるために、馬で渡ることができた浅瀬を教えてくれた漁師を口封じのために殺し、海に沈めたことを話す。女は大切な我が子を持った悲しみを語り、この上は我が子と同じように殺してほしいと盛綱に迫る。盛綱は下人に女を家に送りとどけた後に、漁師の為に法要を営む。すると、海上に漁師の霊が現れて殺されたときの苦痛を語り、悪神となつて盛綱に恨みを晴らそうとするが、やがて仏教の功德で成仏するのであった。(約八十五分)

令和三年 五月 自主公演番組予告

令和三年 五月二十三日(日) 正午始

十四世喜多六平太記念能楽堂

前売開始 三月一日(月) 午前十時

小鍛冶 佐藤 寛泰

小塩 栗谷 明生

葵上 大島 輝久